



同友会の活動
はこちらの
QRコードか
らご覧いた
だけます。▶



8

2019年
月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

社員と経営者が共に学び合う！

2019 新入社員フォロー研修会



七月二十六日(金)～二十七日(土)の二日間、オーベルジュ音羽倶楽部を会場に「二〇一九新入社員フォロー研修会」を開催。今回は例年より参加企業数が少なく、十三社より二十六名、経営者側を含めて約五〇名の参加となりました。

一日目はテーマを「三ヶ月間を振り返ろう」とし、復習も兼ねた「マナー・礼儀挨拶研修」や「傾聴と合意形成」の講

義、各グループで「三ヶ月を振り返って」の交流などを行いました。また、夕食からの会社別懇談会では、経営者と研修生が膝を突き合わせ、じっくりとコミュニケーションを図りました。

二日目は「今後の仕事への向き合い方を考えよう」をテーマに、「人生は自分の手で切り開け」の講義や「自分を知る(自己分析)」の個人ワークとグループワーク、「目標&行動計画書」の作成などを行いました。

受講生が記した研修レポート&経営者側の感想(抜粋)を左記に掲載します。

「研修生」

○グループメンバーからの意見で、他者から見た自分の強みに気づくことができました。実務に戻っても活かし続けるよう意識していきたい。
○学び方一つで、今まで以上の成長が可能だと気づいた。

「経営者」

○研修で学び、自ら良い変化を求め動き出そうとする姿勢が見えた。今後の活躍に期待したい！
○これまで以上に経営者の参加意識も高く、受講生・経営者ではなく参加する全員の成長に繋がる「共に育つ」研修会だった。



経営指針をつくる会 オリエンテーション

経営指針部会



七月十日(水)、前橋市中央公民館を会場に「第二十四期経営指針をつくる会オリエンテーション」を開催。いよいよ八月からスタートする今期の「つくる会」を前に、その理解と参加判断の機会として企画・運営されました。今回でオリエンテーションの開催は四年連続。

はじめに「同友会がめざす経営指針とは？」と題して、グリーンリーフ(株)・澤浦氏(代表理事/沼田支部)が経営指針の全体像と作成意義を報告。続いて「経営指針作成で我が社はこう変わった!」と題して、(株)エス

ティビー・杉崎氏(前橋支部)が、初めての参加以来、経営指針をつくり続けることで会社はどう変わっていったかを時系列で紹介しました。最後に「開催概要・カリキュラムの説明」として、(株)邦和・丹羽氏(桐生支部)が、全六講のカリキュラムと各講におけるポイントを語りました。

三名の熱のこもった報告により、数名の「つくる会」への参加申込に繋がりました。今期の「つくる会」も盛会が予想されます。

100年企業めざす100の変遷

六月例会は「百年企業めざしての変遷」よそにないものをつくる!新商品開発秘話」と題して、茂木食品工業の茂木社長が報告しました。

先代の父が昭和三五年に創業し、「水かき缶蒸し製法」という手間をかけたこだわりの製法で、コシと弾力のあるこんにゃくを現在も作り続けている同社。

しかしながら、それだけでは生き残れないと、平成三年ごろをピークにこんにゃくの家計消費量が減少し始めた頃から商品開発に力を入れます。

また経営について学び始める。また経営について学び始める。と自社の現状に危機感を抱き、事ある毎に社長や副社長に意見するも受け入れてもらえず、そのたびに喧嘩:そんな繰り返しでした。

富岡安中支部6月例会



また平成十二年には反対を押し切り、ネット販売に挑戦。しかし初年度の売上は十五万円、二年目は三十五万円。かたや経費は一二〇万円という赤字。

しかしながら茂木氏は授業料だと思っ

た商品は、「みぞ漬け・粕漬けこんにゃく」「おつまみこんにゃく」「うま辛こんにゃく」「焦がし下仁田ねぎの味付け玉こんにゃく」等等と数多く、最近では高齢者向けの「ほろっと崩れるこんにゃく」や、肉を食べられない人や、食べたくても食べられない人向けに「マンナンソーセージ」なども開発しています。

一方、後継者として息子三人も入社。次世代へ引き継ぐために新工場も建設するなど、常に先を見ながら経営する茂木氏の報告から参加者誰もが同社の明るい未来を想像していました。

大間々高校への出前授業

桐生支部6月例会



六月二十四日(月)、「学校へ行こう!」大間々高校への出前授業」と題して桐生支部六月

例会を開催。昨年引き続き、同校の出前授業を桐生支部が受け持ちました。先生役を務めたのは、(有)花ぶさ・花房氏、(株)邦和・丹羽氏、(株)ハセイプランニング・周藤氏、アライ商会(株)・徳井氏、(株)ユニマーク・尾花氏、日本ゼウス工業(株)・田中氏、山王金型・齋藤氏、(株)グッドスタイル・石原氏、(株)GCS・大友

氏、コミュニケーションサポーター・齋藤氏の十名。

去年は六名の先生役が六教室に分かれましたが、より生徒と密にコミュニケーションを図るため、今年は十名の先生役が十教室に分かれて授業を実施。同校の一年生、約一二〇名を対象に五・六時間目を使い、会員経営者が事業内容の紹介と「働くうえで大切にしていること」をテーマに熱弁を振るいました。授業の後半には意見交換と質疑応答の時間が設けられ、高校生らしい率直な感想や意見、あるいは疑問や質問を先生役の経営者に投げ掛けていました。

先生役を務めた会員の事後アンケートには「生徒さんが真面目に一生懸命聴いてくれたのが伝わった」「自分を感じたままの意見や質問をしてくれたのに驚いた」「来年はさらに良いものになるよう、学校側と内容を磨きたい」などの感想が綴られていました。

会社は変わり続ける

高崎支部6月例会



六月二十一日(金)、高崎市総合福祉センターを会場に「高崎支部六月例会」を開催。報告者を住宅用省力化パネル加工・金属加工などを手掛ける兼希工業(株)、専務取締役・細渕敦氏(伊勢崎支部)が務め、「大黒柱

変遷記!」商品が変わる!私にも変わる!会社は変わり続ける」をテーマに自身の経営体験を語りました。

細渕氏は、同業他社での修行中に家業が経営危機に直面している事実を両親から聞かされ、「絶対に兼希工業を存続させる」という強い意志を胸に同社へ入社。時を同じくして住宅用省力化パネルの仕事が無い込み、細渕氏を責任者に試行錯誤を重ねながら製品の改善を進め、受注量をうなぎ登りに伸ばしていき

ます。

しかし、「急激な受注量増加が人手不足を招き、社員に過度の負担を強いていた」と当時の状況を深く反省。「本気で会社を変える。社員が幸せになる会社をめざす」と固く決意し、職場環境の整備、新卒採用や社員教育、経営指針を中心とした企業づくりに積極的に取り組みます。その様子を丁寧に紹介していきましました。

報告終了後は「変化」をテーマにグループ討論を実施。「外部環境の変化に対応して自社も変化し続ける必要がある」「変えるべきものと変えてはいけないものを見極めが大事」「経営者が変わらなければ会社は変わらない」など、活発な意見が交わされました。

限りある資源を、次世代へ

株式会社 エステビー

Stability Topline Business Co.,Ltd. Zero Emission

産業廃棄物収集運搬
産業廃棄物リサイクルの提案
一般貨物自動車運送
塗装プラント清掃

〒379-2123
前橋市山王町1-19-14
TEL 027-212-3312
FAX 027-266-8288
http://www.s-t-b.jp

会計ソフトを「未来を見る経営羅針盤」へ進化させる!!

クラウド型予算実績管理ツール

 **YOJITSU**[®]

https://yojitsu.net/ 

同友会高崎支部会員

株式会社 **シスプラ** ☎ 0120-638-377
群馬県高崎市問屋町3-10-3 問屋町センター第2ビル
TEL.027-363-8377 FAX.027-363-8313
http://www.syspla.co.jp/

支部の方向性を共有するために

沼田支部6月例会

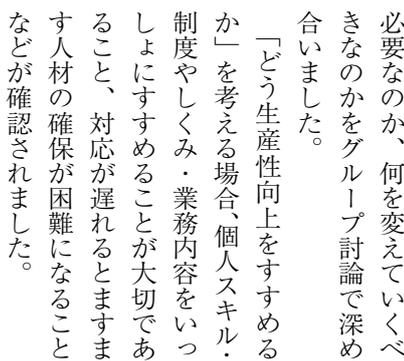


六月二十七日(木)に開催された沼田支部例会は二〇一九年度第一回目の通常例会というところで、前月の支部総会にて支部長に選任された(有)農園星ノ環、社長・星野高章氏が「高収益経営を実現するには、組織を盛り上げるキーワード探し」と題して、活動方針に掲げた「高収益」に対するベクトルを合わせ、なるべくグループワークを織り交ぜながら未来への活動を模索しました。

星野氏を囲むようにイスを並べて準備された本例会は「何が始まるの?」という期待感に包まれながら開会しました。冒頭で会社紹介、昭和村と農業について触れた後「業種や会社によって高収益の考え方が違うのは当然。支部の方針に掲げた以上、一定の共通認識は持たたい」と例会の目的を語り、合わせて自身の考える高収益、同友会を活用した組織づくりについても紹介しました。



報告の後には、対話で沼田支部の未来を描くために「結果に繋がる楽しい学びの場はどう作れるのか?」という問いを用意し、より多くの意見交換が出来るように、メンバー固定のグループ討論ではなくワールドカフェスタイルで進行了しました。



プログラムの後半では、意見の近い参加者でグループを作り直し、高収益化を実現した未来を仮定して、それが特集された新聞記事作成を目指し、具体的なアイデアを出し合いました。未

来の日付で作られた記事は、どれもポジティブな見出しが踊り、具体的な活動紹介で飾られた明るい紙面になっていました。

「高収益経営」をテーマに進んだ例会でしたが、参加者全員が笑顔になり、前向きな気持ちのまま、明日へのアイデアをお土産に閉会しました。

参加者アンケートには「未来(高収益)を先取りして計画を立てる楽しさを学んだ」「楽しく

誤解?働き方改革と関連法案

渋川吾妻支部6月例会



く笑顔で過ごす。会社で実践し高収益の実現に繋がりたい」「全員参加のワークで一体感が生まれ、学びも共有できた」などの感想が綴られていました。

アルミ精密部品の切削加工メーカー
株式会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします!

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL : <http://www.apm-f.com> E-mail : fuse@apm-f.com

30周年 **S/S 株式会社 エス・アイ・エス**

企業の様々な課題をコンピュータシステムで解決!
(自動化、効率化、見える化、高速化)

★システム化事例

生産管理、工程管理、ガントチャート工程管理、在庫管理、原価管理、調達管理、図面配布管理、計測器貸出管理、販売管理、工事書類一括作成、耳標管理、安否緊急通報、ルート配達管理、他

ソフトウェア、ハードウェア、ITサポート、ITコンサル、IT環境構築

お気軽にご相談ください。Tel: 0274-63-0466
〒370-2312 富岡市星田632-1 <http://www.sis-jpn.co.jp/>

中小企業白書を読み解く

伊勢崎支部6月例会

六月二十五日(火)、伊勢崎プリオパレスを会場に伊勢崎支部6月例会を開催。岡田ビジネスコンサルツ、代表・岡田和子氏(伊勢崎支部)が報告者を務め、「中小企業白書を読み解く」(国はどのような企業に補助金を与えたいのか?)をテーマに問題提起しました。

岡田氏は「中小企業の経営者こそ外部環境の変化や幅広い情報にアンテナを張ることが大切」と指摘した上で、中小企業白書からも読み取れる金融円滑化法以降の国の施策動向を時系列で紹介。「国は中小企業に何を改善して欲しかったのか?」「経営課題を解決できない企業をどうするのか?」「国が支援したいのはどういう企業か?」など、時折厳しい問いを参加者に投げ掛けながら語っていきま



ました。参加者アンケートには「白書に記された内容が中小企業の課題そのもの」「普段、叱られることの少ない経営者には良い機会だった」「ニュースの読み方・捉え方。その感度を磨く必要がある」などの感想が綴られていました。

復活!坐禅例会

前橋支部6月例会



前橋支部では、六月二十四日(月)、前橋市中央公民館の和室

を会場に、坐禅例会を開催しました。今回のテーマは「令和元年 目標の宣言と共有」。

如意寺、住職・村田賢秀氏(同支部所属)による法話、坐禅の説明を聞き、いよいよ坐禅がスタート。呼吸を意識しながらも考えることを止め、自分と向き合う二〇分という時間を堪能しました。坐禅が終了すると、開始前よりも念入りに身体をほぐ

し、足をかばうようにゆっくりと意見交換のテーブルへ移動する姿もちらほら見受けられました。

坐禅で頭がスッキリした状態で臨む意見交換は、平成を振り返り、自社・自身を分析し、それぞれが今期の目標を各グループで宣言。グループ発表で全体に共有することが出来ました。

参加者アンケートには「考えない贅沢な時間を味わえた」「坐禅を通して自分の考えが整理できた」「それぞれの目標を聞くことも学びの一つ」といった感想が記されていました。

新会員オリエンテーション

太田支部6月例会



六月二十六日(水)に開催された太田支部例会は「新会員オリエンテーション」として、対象者三名が自己紹介と会社紹介を行いました。

六月二十六日(水)に開催された太田支部例会は「新会員オリエンテーション」として、対象者三名が自己紹介と会社紹介を行いました。グループ討論は「同友会に入って良かったこと」をテーマに、先輩会員が同友会活動について自社に生かしてきたのかをそれぞれ紹介しました。討論の発表は新会員三名が務め、これからの同友会活動に積極的に参加する決意を語りました。

発表を行ったのは、断熱材・シール材・緩衝材・梱包材、各種発泡体素材の加工販売などを行う(株)サンエイ、代表取締役・中西聡之氏。住宅用建材加工、パフ研磨(主に金属研磨)を行う(有)針谷研磨工業所、代表取締役・針谷聡氏。鉄・ステンレス・アルミニウムなどの材質を中心に板金加工・製缶加工・フレーム加工を行う(株)大谷鉄工・大谷宜之氏。それぞれが経歴や趣味

といった個人的なこと、自社の製品や得意分野などの会社概要を紹介しました。グループ討論は「同友会に入って良かったこと」をテーマに、先輩会員が同友会活動について自社に生かしてきたのかをそれぞれ紹介しました。討論の発表は新会員三名が務め、これからの同友会活動に積極的に参加する決意を語りました。参加者アンケートには「プレ報告を行うことで例会づくりのプロセスも伝えられたと思う」「お互いを知る企画はやはり必要。支部の活性化に繋がる」などの感想が綴られていました。



高齢社会の「オアシス」 介護付きスナック



(株)サムエス

代表取締役 荒井 浩司 氏 (高崎支部所属)

Q & A

▼会社&自己紹介

平成十九年九月設立の各種介護関連事業を手掛ける会社です。県内を中心に住宅型有料老人ホーム、デイサービス、訪問介護・看護など二〇以上の事業所を運営しており、埼玉・福岡にも拠点があります。社員数は一六〇名、ご契約の利用者様は約五〇〇名です。

私は平成二十九年四月、介護業界を全くの未経験から経営者になりました。住まいは埼玉県川口市にあり、現在は高崎市内に単身赴任中です。

▼イチオシ

超高齢社会を迎えるなか、他にはないサービスを提供しようという「介護付き高齢者スナック Go To Heaven (ゴートゥーヘブン)」を今年一月にオープンしました。介護認定を受けた六五才以上の高齢者を対象としたスナックで、介護・看護の資格を持つスタッフが接客サービスをを行います。

血圧計や聴診器、パルスオキシメーター(血中酸素濃度検査機器)など、店内には高齢者向けの設備が充実しており、スタッフにお声掛けいただければ、いつでも計測や検査が受けられます。

料金は送迎付きで一時間一五〇〇円、営業は毎週水・木・金曜日、午後六時から九時まで。店内はバリアフリーなので、車いすのお客様も安心してご利用いただけます。

▼経緯

自由に外出できない入居者様から「若いときのように仲間とお酒を飲んだり、カラオケがしたい」という声を多数いただきました。既存の老人ホーム内で試験的に実施したところ、皆さんの表情が生き生きとして非常



に喜んでいただけたので、高崎市内のスナック跡地を利用して正式にオープンしました。

店舗の名称は「インパクトのあるものに」と社内会議で検討して決めました。また、当社のあるものだけに限定せず、地域の入居者様だけに限定せず、地域の介護認定を受けた高齢者も利用可能で、さらには介護関係者の交流の場にもなっています。

▼反響

入居者様からは「生き甲斐が一つ増えた」「ちよつど良い気晴らしになる」などの言葉をいただいています。なかには十数年振りに夜間に外出され、泣いて喜ばれる方もいました。また、スナックの気軽な雰囲気や普段は言えない体調の悩みを打ち明けさせ、接客スタッフが症状を

聞いて専門医への受診を勧めた結果、早期治療に繋がった例もありました。

全国的にも非常に珍しい取り組みなので、NHKや民放のニュース、週刊誌などにも紹介されました。現状、スナック単体では利益に結び付いていませんが、スナックが広告塔の役割を果たし、入居・利用に繋がるケースも出ています。

▼展望

介護業界はスタッフの平均賃金の低さと人手不足が課題です。介護スタッフが、そのままスナックの接客業務にあたることで、賃金のベースアップや効率的な社内体制の構築に繋がればと考えています。また、合わせて働きやすい職場環境の整備にも取り組む必要があります。

介護付きスナックのほか、子ども食堂を毎月開催するなど、当社では様々な取り組みに挑戦しています。それらは他事業所との差別化が目的です。将来的には全国に一〇〇事業所を展開できればと考えています。

所在地／安中市安中1-16-38
連絡先／TEL027-380-1212
URL／http://www.samuesu.jp/

会員たしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【アクセサリ事業部を発足】

(有)山崎製作所

レーザー加工や精密板金製造などを行う(有)山崎製作所(代表取締役・山崎将臣氏/高崎支部所属)は今年5月より社内にアクセサリ事業部を立ち上げた。事業部立ち上げのきっかけは、バンド技能士(金属の曲げ加工)の牧野真弓さんが自作したピアススタンド(税込800円~1,500円)。デザインフェスに出展したところ、「アクセサリを作る人はたくさんいても、おしゃれな展示台がなかった」と評判になり、完売した。こういったジャンルのオリジナル製品も需要があるかもしれないと考えた山崎社長は、3人の女性社員を中心に事業部をスタートさせた。

同社では昨年末から女性社員が立て続けに3人入社。3人とも事務ではなく、現場でものづくりを行っている。社員の4分の1が女性となり、周りの製造業仲間からも驚かされている。

山崎社長は「女性だから採用した訳ではなく、やる気のある人に女性が多かっただけ。結果、現場に女性がいると華やかな雰囲気になり、社内のコミュニケーションも活発になった」と話す。

[7/11付ぐん経]

【ボーイスカウトへ40万円寄贈】

利根郡信用金庫

利根郡信用金庫(理事長・坂井隆氏/沼田支部所属)は1日、同金庫本店で、ボーイスカウト沼田第1団へ支援金40万円を寄贈した。これまで同ボーイスカウトでは、団員が支出する活動費と沼田中央ロータリークラブからの支援で活動を行ってきたが、活動には多くの教材などが必要であることに加えて、着用する制服の購入なども大きな負担になっている。このことから、同金庫に対して支援依頼があった。同金庫としてもこれらの取り組みに賛同し、このたび「とねしんふるさと基金」から寄贈することとなった。

坂井理事長は「『とねしんふるさと基金』は当金庫創立90周年を記念して06年に設立し、地域貢献事業や文化振興を支援してきた。これからも同基金を通じて地域貢献をしていきたい」と話している。

[7/11付ぐん経]

【事故防止へ安全大会】

石川建設(株)

総合建設業の石川建設(株)(部長・石川貢氏/太田支部所属)は12日、業務中の事故防止に向けた第43回安全大会を太田市新田文化会館で開いた。従業員や協力会社の社員ら千人が、危険確認や熱中症予防について理解を

深め、労働災害の根絶を誓った。

石川社長はあいさつで「基本に立ち返って、令和の時代も共に日本一きれいな職場づくりを目指そう」と呼び掛けた。

安全施工に寄与した協力業者や社員らを表彰したほか、熱中症対策や自動体外式除細動器(AED)の使用方法を確認した。

[7/13付上毛]

【ジェンダー論の公開授業開催】

共愛学園前橋国際大学

共愛学園前橋国際大学(学長・大森昭生氏/前橋支部所属)は9日、同大学1号館で「ジェンダー論」の公開授業を行った。今回は、群馬県で活動する「セクシャルマイノリティ支援団体ハレルワ」の間々田久渚代表と、メンバーのやまださんを講師に呼び、同大学のジェンダー論受講生や、教育・行政関係者、事業者の約140人が参加した。

間々田代表は「セクシャルマイノリティの人は身近にいるということを忘れずに価値観のグレードアップをしていくことが大切。学生を含め多くの人に知ってもらい社会を変えられるようにしていきたい」と話した。

同大学でジェンダー論を担当している前田由美子研究員は「ジェンダー論の公開授業は今回で7回目だが、企業や団体の参加者が年々増加している。少しずつではあるが、社会が動いてきていると感じられるような授業だったと思う」と話した。

[7/18付ぐん経]

【ビジネスマッチング支援】

しのめ信用金庫

しのめ信用金庫(理事長・横山慶一氏/富岡安中支部所属)は22日、サイト上でビジネスマッチングが図れるプラットフォームの取り扱いを開始した。有料の専用サイトを通じて、全国の加盟事業者との連携や協業を模索できる。名称は「Shinonome Big Advance」。隣県を含む全国10の金融機関が持つ同様のプラットフォームの情報をつなぎ、加盟業者同士のビジネスマッチングを図る。月額3千円(税別)で利用でき、販路拡大や事業承継といった企業の課題解決が見込める。

同信金は、近県から事業を展開したいと考える中小企業のニーズに応えられるとして、「地元での新ビジネス構築を情報力で支援していく」としている。

[7/23付上毛]

【住所変更】

(株)ろけっと開発、代表取締役・宇田川利明氏(前橋支部所属)は、この度、下記のとおり住所変更しました。

〒371-0855 前橋市問屋町2-4-3
アルファビル7階

【住所変更】

エッジデザインワークス(株)、代表取締役・本田義憲氏(前橋支部所属)は、この度、下記のとおり住所変更しました。

〒371-0027 前橋市平和町1-3-7

【取締役就任】

群立機器(株)、課長・渡辺是文氏(前橋支部所属)は、この度、「取締役設計技術部長」に就任しました。

アルマイト・メッキ(亜鉛、ニッケルetc)・真空蒸着
含浸処理・塗装(UV、粉体、溶剤、カチオン)・ショットブラスト

上毛電化 株式会社

ISO9001:2015認証取得 エコ・アクション21認証取得

〒375-0056 群馬県藤岡市三ツ木336-6
TEL: 0274-24-3228 FAX: 0274-24-4841
URL: http://www.alumite.jp/ E-mail: joumou@vesta.ocn.ne.jp
関連会社(表面処理)ヘイワテクノ株式会社 株式会社高橋塗装工業所

